

一般会計等決算審査特別委員会報告 及び本会議審査報告

●議案第96号 平成22年度 度仙北市一般会計歳入歳 出決算認定について

質問 収入未済総額が前年比5千686万円の増加であるがその原因と対策は。

答弁 リーマンショックと宮城、岩手内陸地震の風評被害が持ち直して来たところから3月の東日本大震災が追い打ちをかけたという状況がある。今後の対策についてはこれまでの個別訪問や換価性の高い預貯金の差押を行い、新たな滞納を増やさないよう現年度分を先に納入頂くことを考えている。徴収嘱託員の動員、夜間窓口の開設、口座振替の促進、コンビニ収納の検討、県地方税滞納整理機構の活用、収納対策室と複合的に機能させながら収納対策を講じていく。

働システムとの照合でできなかった反省を踏まえ、22年度は実施した。

質問 秋田内陸縦貫鉄道は依然として赤字額が2億5千万円前後で推移しているが、新たな負担も覚悟しているのか。

答弁 赤字額2億円、乗者数60万人のハードルを低くする考えでの経営改善はあり得ないと思っている。仮に廃止ということが狙上^{せじょう}に上がった場合を想定すると、内陸線の機能を補完する地域交通の確保が必要になる。

質問 木質バイオマス施設について負担金として、月島機械株式会社より約1,700万をいただいている。瑕疵と認められた結果、当局から負担金を要求したのではないか。

答弁 協議を重ね、信頼関係の中での対応であり、瑕疵を前提したものではない。現在大規模改修を行っているが仮に不具合が発生した場合、改修後に性能検査を実施し、当初、要求した性能が発現できている

答弁 22年度については乖離はなかった。21年度に原

離はなかった。21年度に原



平成22年度一般会計決算審査

本会議採決は可否同数 議長採決で不認定

- 理由は**
- 1、木質バイオマス発電施設 ⇒ 当初の計画通りには全く稼働していない
 - 2、障害者福祉費 ⇒ 補装具費等の支給について利用者負担額に誤り (23年度に返金済み)

か、いまいいか見極めた上で判断したい。

反対討論 木質バイオマス事業は計画した通り成されていない。

施設の不具合が瑕疵でないとするれば、今後とも正規な稼働ができない場合、十分な損害賠償が懸念を抱く。

障害者福祉費の中で補装具費等支給の利用者負担に誤りがあり、23年度に利用者へ返金されてはいるが誤ったままの決算である。

◎委員会審査で賛成・反対それぞれ討論がありました。

採決の結果
賛成少数により、不認定と決定

◆本会議において採決の結果、可否同数、議長裁決の結果、不認定と決定

●議案第101号 平成22年度仙北市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

質問 国民健康保険特別会計の広域化の進展はどうか

っているのか。

答弁 第1段階である後期高齢者制度の廃止を盛り込んだ法案では知事会が反対している事情もあり、国会に提出されていないので、先行きが不透明である。

質問 市県民税等の決算額と調定額の乖離問題等については、今も調査中であるが後でこの決算額が変わることはないのか。

答弁 不能欠損については、納付義務が5年時効により消滅するので影響はない。調定額では、例えば追加で出てくる年度がある場合は、それがわかった時点で過年度分としての追加税措置となる。

反対討論 大きな病気も流行せず医療費の抑制に繋がりが、かつて無いほどの黒字であった。市民の方々は国保税を少しでも下げてほしい強い要望がある。その負担を軽減するよな決算でないので、認定については反対である。

◎委員会で採決の結果、賛成多数で認定

◆本会議では賛成多数、認定と決定

●議案103号 平成22年度仙北市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

反対討論 この制度の廃止を要望している。又、広域連合の決算残高は33億円以上あり、負担軽減となる対策をするべきであり、認定については反対である。

◎委員会で採決の結果、賛成多数で認定と決定

◆本会議において賛成多数で認定と決定

■審査の過程で出された意見や要望等、あるいは監査委員の意見や指摘事項について、これを真摯に受け止め、来年度の予算に反映されるよう要望する。

(荒木田 記)

